

麦穂だより

第 61 号

発行 武蔵野手打ちうどん保存普及会川崎 2017年 6月

事務局 川崎市宮前区宮崎 2-2-4 エクセル佐々木 108

村田芳包 TEL090-1427-7260

ホームページ URL (<http://musashinouдон.dokkoisho.com/>)

平成 29 年度 第 17 回 定期総会 報告

(とき：平成29年5月21日 (日) 11時～12時 ところ：高津高等学校 第2会議室)



今年最高気温を記録した5月21日、定刻11時に開会。麦穂がしっかり実をつけ、葉茎も黄色になりすぐにも収穫出来そうな状態で、今年は白板に飾りつけられました。事務局長から会員総数46名中、出席21名、委任状22名ということで総会成立が確認されました。

北條会長挨拶、池田名誉会長挨拶の後、議長として吉井孝大氏が選出され、村田事務局長から事業報告、中野会計からの決算報告、島根会計監査からの監査報告は、滞りなく承認されました。続けて事業計画(村田)、予算案(中野)が提案され了承されました。最後に、今後2年間の役員構成案が提案され、承認されました。第2部懇親会は、3種の乾麺を茹でて、中野幹事特製のつゆと北條会長が早朝に収穫の玉ねぎ、ウ

ドの芽、カリフラワー、三つ葉、柿の葉5種の天ぷらと中野幹事提供のスナックえんどうにスライスオニオン添え、薬味はネギでたっぷりと賞味しました。

会員各自の感想では、岡山県の豪快な鬼うどん(半生)が断トツ人気でした。初めての天ぷら作りでしたが、会員の岡林京平さんの指導と皆様の協力を得て、美味しく仕上がり完食でした。当日の乾麺については4頁目を参照してください。(江原光子)

名誉会長	池田 輝夫
会長	北條 秀衛
副会長	館 健三
幹事長	山田 敏徳
事務局長	村田 芳包
会計	中野 敏雄
会計	中村 文子
幹事	江原 光子
幹事	桑畑 祥生
幹事	坂本 光弘
会計監査	島根 正隆
会計監査	橋本つね子
顧問	藤嶋とみ子
顧問	中島 常雄

うどん食べ歩き (加須編)

吉井 孝大 (会員)

春うららの4月2日、武蔵野川崎うどん会の重鎮「池田名誉会長」、「北條会長」をはじめ10名の麺食いが、それぞれの自宅から、3時間程の電車旅を経て、埼玉県の東北部に位置する加須市の玄関口、東武伊勢崎線加須駅に参集しました。

先着していた坂本事業部長から簡明な説明を受けて、食べ歩きをスタートしたのは11時でした。

見た目は若いと自讃していますが、平均年齢70歳を優に超える面々、のんびり、ゆったりとした足取りで、「うどんと鯉のぼり」の街の旧街道を歩くこと30分、予約済の「登治うどん」店の暖簾をくぐりました。祖父さんの名前を付けたと言う店は、麦穂だより第59号で紹介されたとおり、席数は多く、また駐車場も広くとってあり、国道に面しているなど、立地条件が良いため、常に満席状態でした。

座敷席に通された面々、大食いの2名は大盛うどんとミニ天井付きの定食、他はかき揚げうどんを注文し、会長の「旅は家に帰るまでが、・・・」との発声により乾杯し、のどを潤すと共にうどんを食しました。50店以上あるうどん加盟店入りせず、がんこ親父然とした店主が打つうどんは、「我々の方が・・・」との感想も聞かれましたが、食べ歩きに熟達した中野会計から、「こうしたうどんもあるんだなと感じて食せば良いのでは」との言葉に、納得した次第です。ぽかぽか陽気の中、次の目的地「不動ヶ岡不動尊總願寺」まで、地元の新鮮野菜を買い求めながら、15分程で到着です。境内

は広く、散見される桜はようやく4分程度、見頃はもう少し先。本堂は天保年間に建てられた加須市の代表的な木造建築物で、さすがに関東三大不動の一つだけに見所のある立派な寺でした。

はしごの2軒目は、門前にある「岡村屋」。創業200年の老舗。1軒目からは時間もあまり経っていなかったため、全員が軽めに「もりうどん」を食しました。また、名物なまずの天ぷらを酒肴に、ここでもビールと地酒で満腹、ほろ酔い気分。門前に並び建つ武蔵屋本店で「五家宝」を土産に買い求めた会員も多くいて、帰宅後美味しくいただきました。

2年振りに参加した「食べ歩き」。その醍醐味はと問われれば、それぞれの土地の名物うどんを食し、風物に触れることはもとより、普段の講習会では味わうことができない会員同士の親睦を深める場と答えますが、いかがでしょうか。

終わりに、これを企画された事業部長他幹事の皆様に感謝を申し上げ、次の食べ歩きを期待しまして記といたします。



登治うどん店にて

活動報告（前号以降）

- 3月 5日（日） 第4回講習会（通算73回目）会場：高津高等学校料理室
10:30～12:30 参加15名 役員11名
13:30～15:30 参加7名 役員11名
第5回役員会 13:00～13:30 食べ歩き及び定期総会について協議
- 4月 2日（日） 手打ちうどん食べ歩き散策
11:00 東武電鉄「加須駅」集合 参加10名（役員8名）
内容については2頁を参照
- 4月 5日（水） 会計監査 15:00～ 会場：市民活動サポートセンター参加4名
- 4月10日（月） 第6回役員会 18:00～20:00 会場：市民活動サポートセンター参加8名
定期総会議案資料と次第および懇親会について協議
- 5月21日（日） 平成29年度定期総会 11:00～11:40 会場：高津高等学校第2会議室
懇親会 12:10～14:00 会場：高津高等学校料理室 参加22名
内容については1頁と4頁を参照
- 5月31日（水） 麦刈り 9:00～12:00 会場：栗木・634菜園 参加7名（会員4名）
- 6月 4日（日） 麦刈り 8:30～11:30 会場：栗木・634菜園 参加5名（会員4名）
- 6月 6日（火） 脱穀 13:00～13:40 会場：634野菜園参加7名（会員2名）



第4回講習会



懇親会



634野菜園の麦

今後の予定

- 7月2日（日） 第1回講習会 10:00～と13:30～ 会場：高津高等学校料理室
第1回役員会 13:00～
- 10月14日（土） 第2回講習会
- 12月 3日（日） 第3回講習会
- 平成30年3月4日（日） 第4回講習会 会場：いずれも高津高等学校料理室
- 9月16日（土） 指導者養成講習会・道具点検

うどんと芸能 (前号からの続き) 藤嶋とみ子 (顧問)

おすわどんー古典落語

先妻を亡くした上州屋徳三郎は後妻におすわを迎えた。夜中外でバタバタと戸を叩くような音がし、「おすわどん」と呼ぶ細い声がした。前妻の幽霊ではないかと浪人に正体を見破るように頼む。声がしたあたりにはそば屋が座っている。バタバタは七輪をあおいで火を起こす音であり、「おすわどん」と聞こえたのは「おそば、うどん」という売り声であった。

探偵うどん (警察うどん)ー古典落語

泥棒がうどん屋に衣装と屋台を借り、うどん屋に化けて逃げようとするが・・・実はうどん屋は刑事で「アヒャー、一杯食わされた」という嘸。(泥棒はうどんが嫌いだったが一杯食べることになる。) 関西と関東では同じ内容でも題(呼び名)が変わっているものが多い。古典落語は本来長いものだが現在は時間が限られ短くなっているため、その度に自分の考えで「落ち」を作るようにする。

全国各地のうどんから 中野 敏雄 (幹事)

うどん会総会の後、今年で三回目になる全国のうどん試食会を行った。

今回は、中国・四国地方から3品選択いたしました。糧は自家製の野菜の天麩羅、スナッフえんどろ、新玉ねぎなど。つゆは、アゴと鰹節を使用。

*備中手延べうどん

岡山県浅口市「鴨川手延べうどん」

(かも川手延素麺株式会社)

地元の小麦と瀬戸内の塩を使った半生うどん、長さ80センチくらいもちもちとしてコシのある太口麺。

*阿波のたらいうどん

徳島県板野郡板野町(岡本製麺株式会社)

昔、山で働く人夫たちが川辺でうどんを「たらい」に移し、囲んで食べたのが始まりという。包丁切とは、伝統の手打ち

製法に基づいた切り方。しっかり熟成させた麺生地を包丁で一本一本丁寧に切り上げるので、角がしっかり立った麺に仕上がりが、舌触りが良くソフトな触感を保てます。コシの強い太めの手打ち麺。

*半田うどん

徳島県美馬郡つるぎ町半田

(竹田製粉製麺工場)

もともと半田地方はそうめんの本場、それもスパゲティ一位太い麺。手延べうどんは普通の太さで、食感はシャキシャキ、つるつるして食べやすい。



うどんうどんうどんうどんうどんうどんうどん あとがきうどんうどんうどんうどんうどんうどん

懇親会の感想の中で、前年度第4回講習会の634野菜園の地粉(農林61号)と田中製粉の地粉(農林61号)のブレンド粉を使用した手打ちうどんが大好評でした。うどんの命は地粉の香りなのかもしれません。梅雨前の天候を考慮して麦刈りと脱穀が発行日前に完了。骨の折れる作業に参加して頂いて感謝です。豊作を期待しましょう。

藤嶋顧問の「うどんと芸能」が紙面の都合で分断されました。編集の勝手際を改めてお詫び申し上げます。(光)